



Sekisyo 通信



R6・11・15

NO, 21

文責：校長 酒井



めざす児童像：夢や希望を追い求め、失敗も学びにかえる子

☆☆☆ あの電柱まで、あと100mだけ…。☆☆☆

マラソン大会の朝、バスから降りて元気に登校してきた3年生（以後仮名Sさん）。

大丈夫なの？昨日熱で休んだんでしょ！？

大丈夫です。もう熱は下がりました。

マラソン大会どうするの、無理しないほうがいいんじゃない？

エッ…!?出ますよ！



笑顔で答えたSさんのその結末は…。

気にはなってはいたのですが、全校生が参加するマラソン大会ですので、1・2年生を送りだした頃には、Sさんのことはすっかり忘れていました。担任にも確認はとっていません。

中学年（3・4年）の応援にグラウンドに近づくと、Sさんのお父さんの姿を見つけました。今朝のやり取りを思い出し、近づいて様子を尋ねると。

いうこと聞かないんです。だから「ゆっくり走ったら!？」って言って送り出したんです。

家庭でのやり取りが目につかびます。熱は下がったとはいえ家族は気が気ではなかったはずですが。ましてやSさんにとって初めての1.5km、なかなかの長丁場ですし、更に朝からの厳しい寒さと強風。しかし、結果は予想を裏切り!?見事に完走。試走の時よりはタイムも順位も落としましたが、立派な完走です。ゴール後にはさわやかな笑顔も見せていました。

コロナ感染症の副作用でしょうか、みんなで計画し準備を進めてきた楽しいはずの行事や大会も、当日の欠席が目立ちます。家庭の事情や体調を崩してしまう等、理由は様々で、やむを得ない場合が多いのですが、保護者の反対を押し切って、自分の判断で出場したSさんにたくましさを感じた校長です。無鉄砲かもしれませんが、病は気からとも言います。大会後理由を尋ねると、

だって、練習したし、OO君に勝ちたかったし…。

と、答えが返ってきました。ただ参加するだけの大会ではなく、目標に向かって毎日の練習に真摯に取り組んだからこそ意欲が高まったのでしょう。石小の目指す児童像がはっきりと見えました。

ただしSさん、次の日にまた熱を出して欠席してしまいました。さすがに今度はお家の方のいうことを聞いたのでしょう。(笑)でも、翌々日はすっかりよくなりました。

1968年メキシコオリンピックのマラソンで、銀メダルを獲得した往年のランナー君原健二さんは、何度もマラソンに挑戦しました。しかし、辛くなるとすぐにあきらめなくなったのだそうです。そんなときは、「あの街角まで、あの電柱まで、あと100mだけ」と、自分に言い聞かせてゴールを目指したと言います。そして、出場した40回のフルマラソンを一度もリタイヤせずに完走しました。

今年の校内マラソン大会、フルマラソンやオリンピック選手とはもちろん比較できませんが、根底に流れる心は変わらないのかも知れません。

石小では、これからたくましい子の育成にスタッフ一丸となって努めます。

引き続きの励ましやお声掛けをお願いします。

※大会の様子はHPご覧ください

☆☆ 本物(人・もの・こと)!と出会う! ☆☆

地域の素材や地域の人々との触れ合いを大切にしてきた石小の学習ですが、この秋、生活科、総合的な学習の時間を中心に、取り組みがいよいよ加速してきました。実践の一部を紹介します。

1年：アサガオ栽培(生活科)

5月中旬から、毎日欠かさず水をやっては観察を続け、猛暑の夏も家に持ち帰って大切に育ててきたアサガオ。花の色や数、一粒ずつ種を数えることを通して、半年間身近にかかわる中で、植物への慈しみの心も育っています。「秋たんけん」ではモトガッコで友だちと協力しながら活動できるようになりました。日々成長しています。



2年：まちたんけん(生活科)

街なかのたくさんの商店街を探検に出かけたのはまだ暑さの残る秋、ボランティアの保護者さんに見守られながらの探検は、各チームの自由活動。もちろん事前に計画は立てますが、あとは現場に任せられます。インタビューあり、体験ありの3時間。行きも帰りも交通手段はもちろん徒歩。



3年：サツマイモを使って(総合的な学習の時間)

春から取り組んできたサツマイモのお世話。苗植えと収穫をすませ、先日は、NPO団体中谷地区の「食彩あすか」の皆さんと、スイートポテトづくりに挑戦しました。その数日前には、サツマイモの弦を使ったリースも完成、取り組みはまだまだ続きます。さて、次のミッションは…。



4年：森林環境学習(理科・社会・総合的な学習の時間)

夏に行ったせせらぎスクールに引き続き、今度は「森の案内人さん」のガイドで、森林環境学習に出かけた4年生。母畑湖畔の散策を通して森の自然を五感で体現しました。川、山、の自然だけでなく、簡易コンポストを使って、生ごみの有効利用にも挑戦、SDGsにも深く関わっています。



5年：田んぼやってみます(社会・総合的な学習の時間)

田植え・案山子制作・稲刈り・はせ掛け・脱穀・精米と、全て手作業での稲作を体験しました。脱穀は足踏み脱穀機と千歯扱きの両方を使用し、時代による農機具の進化も理解しました。先日は、JAの米倉庫の見学も終え、興味は深まるばかり。さて、収穫したお米の行方は…?

6年：思いっきり会津若松市(総合的な学習の時間)

6年生の修学旅行は会津若松市散策。若松駅前解散すると、あとはチームごとの自由活動。もちろん事前の準備と計画は万全ですが、予定通りとならないのも旅の醍醐味。時間内に集合場所にたどり着けないチームもあり、臨機応変を地でいった子ども達です。

体験を通して経験値を上げることが目的の一つですが、その中でも、多くの方々とかわれたことは子ども達の財産です。2年生は商店街の方々と6年生は会津の方々の優しさや直(じか)に接することで、教科書では決して学べない体験をしました。本物(人・もの・こと)との触れ合いは子ども達を必ず成長させます。

今年の重点目標よろしく「創立10周年を迎え 地域と共に新たな一歩!」を、確実に踏み出している子ども達とスタッフです。

今年度もあと5か月となりましたが、これからも地域で本物と触れ合う機会を設けていきます。